FUJITSU
みんなで節電。
—富士通ゼネラルのエアコン—
人感センサー、フィルター自動おそうじ機能、高効率インバーターなど
快適性と省エネ性を高めるテクノロジーを追求。
さらに無線(RF)リモコンとパソコン(別売)で毎日の電気代をカンリする節電サポート機能も搭載。
お店に行く前にチェック! エアコン購入時のお役に立ちます。
エアコン購入NAVI　検索
詳しくは、ホームページ http://www.fujitsu-general.com/jp/
〒213-8502 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社 富士通ゼネラル

東海大学と産学連携でエレクトライク(電気三輪自動車)を開発しています
エレクトライクで CO_2削減と省エネルギー
電気で動くため環境に優しい ecology
最新技術より実現した高い安全性 safety
二輪車と四輪車の長所を集めた効率性 efficient
EVの概念を打破する安価性 economy

試作3号車　試作2号車　試作1号車　ミゼット

試作4号車
株式会社 日本エレクトライク
http://www.e-tric.co.jp
〒211-0066 川崎市中原区今井西町93-3
サポートカンパニー
株式会社 日本ヴューテック http://www.nvt.co.jp
株式会社 東科精機 http://www.toka-seiki.co.jp

挑戦する中小企業を応援します。
川崎市産業振興財団
かわさき起業家オーディション
ビジネス・アイデアシーズ市場
起業家オーディション　検索
いつでも、だれでも、どこからでも
ビジネスプラン募集中
TEL 044-548-4141

アセコート超耐熱電線
【用途】
■工業用ヒーターリード線
■成形機・押出機・機器周辺配線用
■データ用ケーブル
■高周波誘導加熱ケーブル
■耐熱型同軸ケーブル
■半導体装置用ヒーター
■鉄鋼向け計装用ケーブル
■サーミスター用リード線
クリーン対策(Max400℃)耐熱絶縁電線
耐熱電線の総合メーカー
日本耐熱線工業株式会社
代表取締役　石塚 敏夫
本社　〒211-0067 川崎市中原区今井上町81-1
TEL.044-738-0215(代)　FAX.044-738-0450
E-mail: info@nittai.com　URL: http://www.nittai.com
北九州営業所／台北出張所

川崎市

受発注コーディネートで中小企業支援

京浜工業地帯の中核都市として100年にわたり日本経済をけん引してきた川崎市。現在は「モノづくり都市」としてその存在価値を高めているが、3月11日の東日本大震災は市内中小企業に受注減という影響を及ぼした。一方、経済のグローバル化が進み、製造業を中心にわが国を代表する「研究都市」の一面もみせており、羽田空港の再拡張・国際化に対応する新たな交流拠点を形成する「神奈川口」の整備に向けた臨海部の戦略的な土地利用の促進にも取り組んでいる。

取引拡大を後押し

産業集積 拠点づくりも

東日本大震災は川崎市の中小企業にも影響をおよぼした。中でも受注の減少は企業の先行きに暗雲をもたらした。川崎信用金庫（川崎市川崎区、草壁悟朗理事長）が4月下旬に調査した「東日本大震災の市内企業への影響」によると、震災による自社の現在の経営への影響については「売り上げ・受注の減少」が37・1％と最多で、「節電協力による営業時間の短縮」が29・8％、「納期の遅延」が27・2％と続いた。また、夏の電力不足による自社の経営について懸念される点は「受注・発注の減少」が52・1％で最も多かったことでも分かる。

そこで川崎市は東日本大震災で減少した市内中小製造業の受注確保を支援するため、「受発注コーディネート事業」を実施している。川崎市の「東日本大震災対策本部」が取り組む事業の一環で、産業支援機関と連携して受注状況などの情報を把握し、大手企業とのマッチングの拡大などにつなげる。

川崎市は事業推進に際し、川崎市産業振興財団（川崎市幸区、曽祢純一郎理事長）と委託契約を結んだ。同財団は中小企業診断士や技術士、民間企業OBらを「受発注コーディネーター」として10人程度を選任。市内の中小製造業を日常的に訪問して、最近の受注状況や得意技術、保有機械設備などを把握する。

また、神奈川産業振興センター（横浜市中区、神谷光信会長）とも連携した。新たな発注案件を開拓しながら、個別マッチングや9月開催を予定している受発注の商談会（川崎ものづくり商談会）などを通じて取引拡大を後押しする。

具体的には、財団の受注コーディネーター5人が、受注を希望する市内約400社の中小製造業を訪問。受注状況の把握、支援策の情報提供などを行う。センターの大手企業OB（発注開拓専門員）による発注コーディネーター5人が、7月から外注先を求める市内外の大手・中堅企業など延べ約200社を訪問し、新規発注案件の情報を収集する。

一方、羽田空港は2010年10月に新国際線ターミナルと4本目のD滑走路が開業した。川崎市は羽田空港の南西、多摩川の対岸に位置する「殿町3丁目」に環境技術・ライフサイエンス分野の研究拠点を形成し、高度な先端技術を有する大学・研究機関・企業などの集積・連係を促進する機能を担う。合わせて臨空関連産業の集積で、地球規模で人々の幸福に寄与する拠点を目指している。

同地区の核となる研究開発施設（中核施設）は「再生医療・新薬開発センター」と「産学公民連携研究センター（仮称）」で、環境・ライフサイエンス分野の先端技術により地区を先導する。

「再生医療・新薬開発センター」は財団法人実験動物中央研究所が慶応義塾大学医学部先端医療開発特区プロジェクトと連携して、再生医療の実現や革新的新薬の研究開発などによって人々の健康に貢献しようというもの。川崎市が実験動物中央研究所に敷地面積約6000平方㍍を貸与、延べ床面積約1万1500平方㍍、鉄骨造りで地上4階（一部5階）建ての施設を建設、今年3月に完成した。7月12日にオープンした。

主要機能は動物飼育室や培養・MRI・RI（放射線）実験室、産学連携実験室などで、脱臭・化学物質除去設備、実験排水の確認放流用設備、屋外機器用防音壁などの主要設備を備えている。投資額は建物が約35億円、設備が約10億円の合計45億円。

「産学公民連携研究センター(仮称)」は、公害・公害監視・環境情報の3センターを統合した環境総合研究所、従来の衛生研究所の機能を高度化した健康安全研究センター(仮称)、先端技術を有する大学、研究開発機関、企業などが入居する「貸し床」、共用施設で構成。敷地面積は約7000平方㍍、延べ床面積が約1万平方㍍。年内に着工、来年中に完成予定で、13年4月のオープンを目指している。

新川崎・創造のもり地区に建設する産学公民共同研究施設

ナノテクで連携

4大学と体制づくり

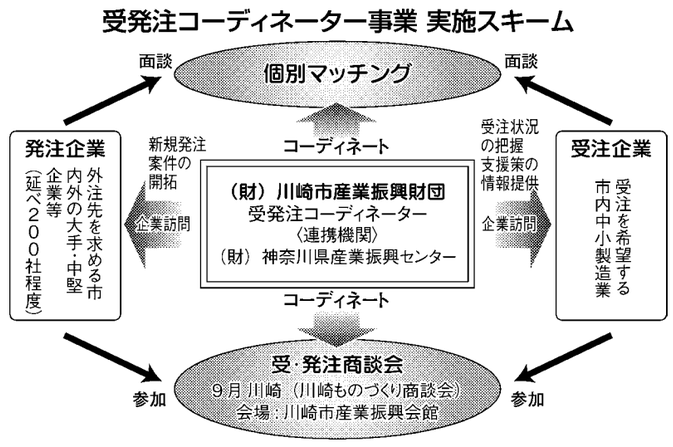
先端技術の研究開発では、ナノテクノロジー・ナノ材料分野に取り組む慶応義塾、早稲田、東京工業、東京の4大学による「ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアム」がある。川崎市と09年1月27日に連携協力に関して基本合意したものだ。同コンソーシアムはナノマイクロの基礎研究から製品化までをカバーする施設の立地や市内企業とトップレベルの大学研究者による産学連携の仕組みづくりを目指す。ナノマイクロ領域で最先端の研究を行っている4大学が協力して、それぞれが擁する人材、知識、技術、国際交流のネットワークを統合し、効率的で強力な教育研究体制を構築する。

同コンソーシアムは新川崎・創造のもり地区（川崎市幸区）のかわさき新産業創造センター（KBIC）に活動拠点を設置、総額約15億円にのぼるナノ・マイクロ関連の世界最先端の機器を多数整備した。

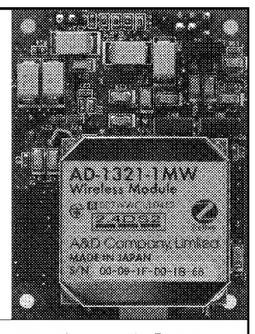
これに合わせ川崎市は来春、新川崎・創造のもり地区に大型クリーンルームを備えたナノマイクロ産学官共同研究施設を新設する。国は重点的に高度化を図る20の技術を特定モノづくり技術に指定しており、この中の金型、電子部品・デバイスの実装、プラスチック成形加工、めっきなど大半の技術はナノテクノロジーと関連性が高い。

こうした技術を中心に4大学コンソーシアムの知見を活用した産学共同研究、共同利用が可能な施設が同施設だ。企業は施設に設置する最先端の高価な設備・機器を利用できるようになり、「試作・加工」「組立・実装」「計測・分析」といった一連のファブリケーション作業がワンストップでできるようになる。

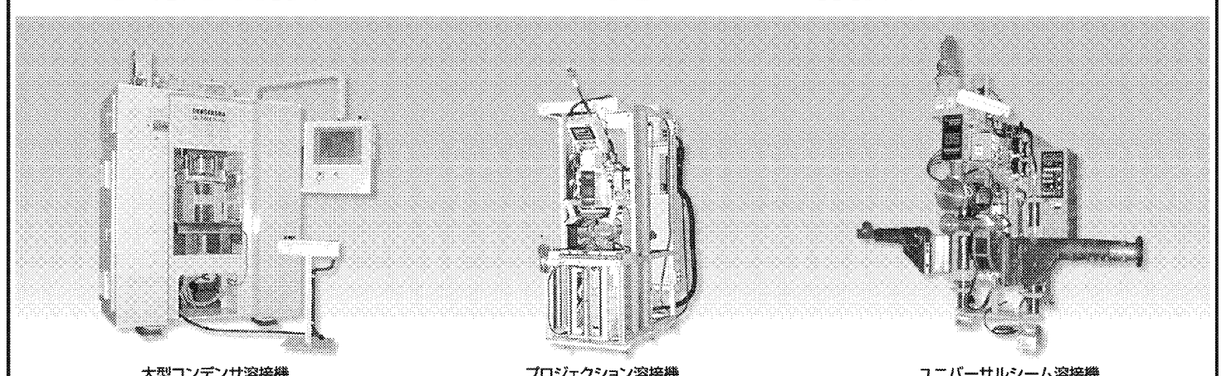
新施設は敷地面積が約8800平方㍍で、延べ床面積が約4810平方㍍。面積750平方㍍のクリーンルームはクラス1万で、新事業研究室（27室）、一時利用研究室（2室）などを整備。12年4月に供用を開始し、クリーンルームは8月から利用可能の予定だ。

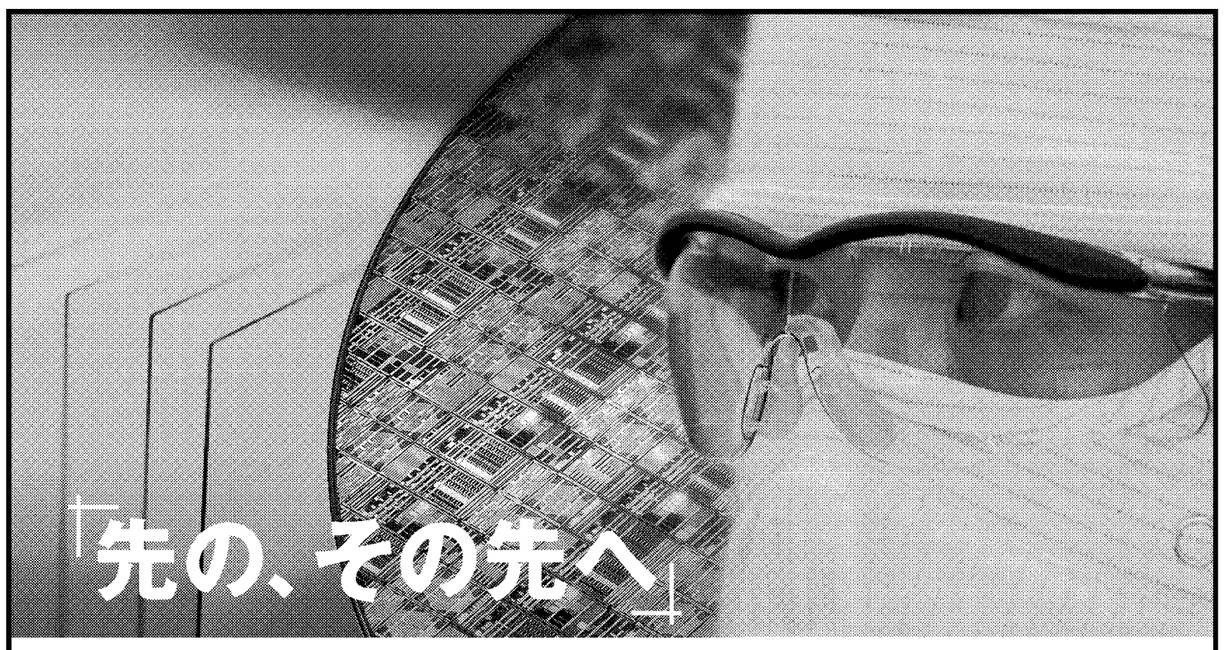


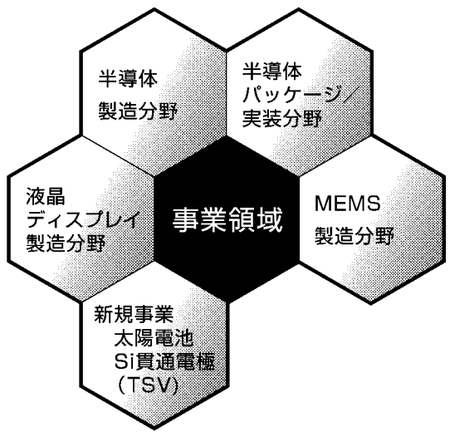
未来を拓く夢のある会議所に
魅力あふれる会議所に
会員増強キャンペーン実施中!
川崎商工会議所
会頭 山田 長満
川崎市幸区堀川町580
ソリッドスクエア西館5F
TEL 044-540-3901(代)

FA用ZigBee
無線IFモジュール
●各種工業用センサー装置からの
4～20mA信号等を
24Bitの精密なデータで
PCを介さずPLCに直接伝送!
●温度センサー搭載型も用意!


エレクトロニクスのシステムを創る
FUKUSHIMA
http://www.fukushima-ele.co.jp
福島電機株式会社
〒211-0014 川崎市中原区田尻町68-5
TEL.044-522-4511(代表)
FAX.044-511-5503

DENGENSHA　明日を拓き、未来に繋げる抵抗溶接技術
抵抗溶接のことなら、何でもご相談ください

大型コンデンサ溶接機　プロジェクション溶接機　ユニバーサルシーム溶接機
株式会社電元社製作所
本社工場／〒214-8588 川崎市多摩区枡形 1-23-1 TEL(044)922-1121(代) http://www.dengensha.co.jp
愛知工場／TEL(0566)97-9530　富山工場／TEL(0766)86-3113　北関東営業所／TEL(0276)46-6621
愛知営業課／TEL(0566)97-9530　大阪営業所／TEL(06)6451-0521
広島営業所／TEL(082)225-2573　九州営業所／TEL(093)922-4442



私たち東京応化は、微細加工技術を応用し、
「次なる技術、次なる価値」の創出を目指して、
果敢にチャレンジしていきたいと考えています。
私たちのチャレンジに、ご期待ください。


tok 東京応化工業株式会社
〒211-0012 川崎市中原区中丸子150 TEL.044(435)3000〈代〉
http://www.tok.co.jp/